利活用提案を募集

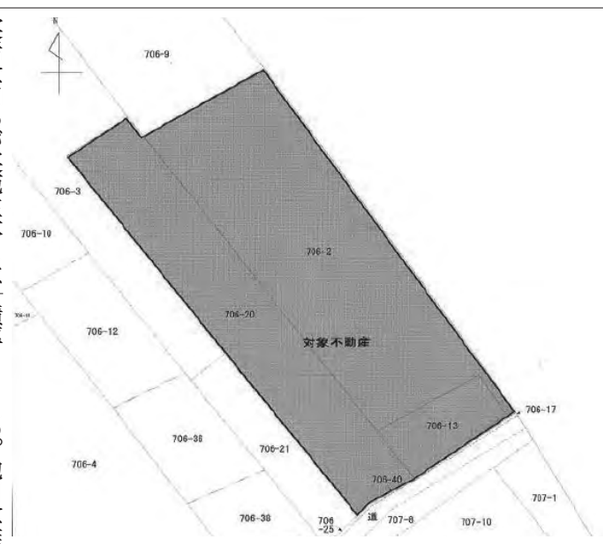
上砂の市有地4772㎡対象

八街市

八街市は、上砂字市田道706―2ほかの市有地4771・69㎡を対象として利活用提案を受け付ける。11日に募集要項などを公表した。原則として、貸し付けにより利活用を図る。提案者は自らが実施主体となり、契約締結日から起算して5年以上、継続して利活用を行う。最低提案価格は月額4万4940円以上（年額53万9280円以上）。

対象地は、非線引き区域に位置し、建蔽率60%、容積率200%。地目は雑種地。幅員7・5～8・1mの市道2―17号線に接している。

提案者の要件は、提案内容を実施する意思、能力、資格を有する法人、個人事業主、任意団体であることなど。共同提案も認める。



位置図

対象地の現況

今後は、8月8日に現地調査申し込みおよび質問を締め切り、同月15日まで事前相談の申し込みを受け付ける。同月18日～9月19日に申込書類の提出を求め、10月上旬～中旬の選定審査会による審査を経て、10月下旬に審査結果を通知・公表する。

審査においては、事業遂行体制・信頼性、提案内容の独自性、市の施策への貢献度、地域への貢献度を評価する。

再開発事業念頭に

北小金駅北口まちづくり

松戸市

松戸市は、2025年度における北小金駅北口のまちづくりについて、都市再生整備計画に基づき駅前広場や道路の配置検討を進めるとともに、「（仮称）北小金駅北口のまちづくりを考える会・発起人会」の活動を支援する。発起人会は、まちづくり調査支援事業を活用し、「まちづくりを考える会」としての組織化、市街地再開発事業を念頭に置いたまちづくりの深度化を図る。

事業推進に当たっては、物価や人件費の高騰による建設費の増加が大きな課題となっていることから、建設費の動向、事業収支の検討、事業者へのヒアリングを通して今後のスケジュールを見定める。

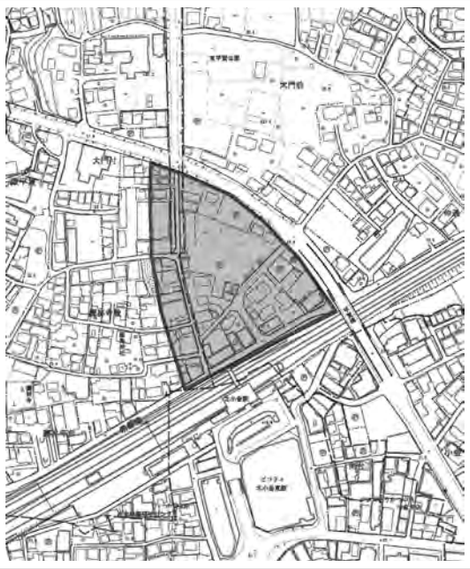
松戸隆政市長は「本土寺の玄関口にふさわしい魅力づくりや駅前広場の整備を進め、交通利便性の向上を図り、にぎわいと活気があるまちづくりを推進する」と述べた。

北小金駅は、東平賀地先に所在。駅南口では市街地再開発事業が実施され、基盤整備が進められているが、駅北口では基盤整備が遅れ、駅前のまちなみの更新が進んでいない。

また、駅南側の東漸寺、駅北側の本土寺など歴史的資源を地域の魅力づくりに生かせておらず、南北連携によるにぎわいの創出が十分でないことから、駅北口周辺半径1㎞圏内を対象とする都市再生整備計画を策定し、25年度から事業を進めている。

将来的には、駅北口の交通諸課題の解消、駅前の顔となる市街地整備などを計画に組み込み、市街地再開発事業を想定したまちづくりの基本計画を検討する。

24年4月には、周辺の土地権利者からなる「（仮称）北小金駅北口のまちづくりを考える会・発起人会」が発足。首都圏不燃建築公社による「まちづくり調査支援事業」を活用し、関係権利者への意向確認など、まちづくりの検討を進めている。6月13日に「北小金駅北口周辺地区公共施設配置基本計画および測量業務」に係る公募型プロポーザルを公告した。過年度に実施した業務および関係機関の意見などを踏まえ、公共施設配置の基本計画を立案する。委託期間は26年3月31日まで。提案限度額は1200万円。


北小金駅北口の開発検討区域

372床配分へ公募開始

市原圏の病床整備計画

県健康福祉部

市原医療圏の機能別病床数および必要病床数　（床）

医療機能	必要病床数　A	2024年度病床機能報告 B	差（B-A）
高度急性期	284	108	△176
急性期	826	1,521	695
回復期	695	315	△380
慢性期	335	164	△171

県健康福祉部は、市原保健医療圏における病床の整備計画を8月21日まで公募している。配分可能な病床数は372床の見込み。2030年3月末までに開設（変更）許可を受けることを条件としている。応募者は、公募期間内に計画書を提出した後、市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議などにおいて事業計画を説明する。

市原保健医療圏においては、24年度の市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議で早期に病床整備を希望する意見があったことを踏まえ、1日に開催した25年度第1回医療審議会病院部会で審議した結果、病床の整備計画の公募を行うこととした。

病床の配分に当たっては、24年4月改定の保健医療計画における医療提供体制の整備方策との整合を図る。

具体的には「市原保健医療圏で不足している医療機能に関わる病床」「在宅医療に関わる病床」「保健医療計画の実現に向けて必要な病床」を優先し、基準病床数の範囲内で配分を行う。

配分数、配分先の検討に当たっては、地域課題を解決するため、市原市、市原市医師会、市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議の意見を尊重する。

寿光会が応募へ　市原市に新病院

寿光会は、市原市西部地区（姉崎公園敷地内）における、療養病床198床の新病院「（仮称）姉崎のぞみ病院」の設置に向け、今回の公募に応じる見込みだ。病床が配分されることになれば、28年12月の開設を目指し、市原市と連携して準備を進めていく。

市西部地区への病院など開設は、帝京大学ちば総合医療センターの帝京平成大学ちはら台キャンパスへの移転決定を受け、市西部（姉崎、有秋）地区の医療体制の維持・確保を図るもの。

同法人は、市原市による「市西部地区への病院など開設に係るパートナー事業候補者」として選定されている。

新病院では、一次救急に対応するほか、二次救急受け入れについては検討中。外来診療科目は内科、整形外科、リハビリテーション科。在宅診療として訪問リハビリテーションを行う。施設計画は、S造3階建て、建築面積2500㎡、延べ床面積6700㎡、駐車場203台。

建設地の現況

施工は大和ハウス　市原市老人ホーム

大和ハウス工業㈱東関東支社（船橋市本町1―27―1）は、市原市古市場551―1ほかにおけるS造3階建て、延べ床面積2600・46㎡の有料老人ホーム新築の施工を担当する。予定工期は、2026年4月15日～27年1月25日。

建設地は、コンビニエンスストア「セブンーイレブン千葉村田町店」の東側に位置。敷地面積は1983・08㎡。現地には雑草が生い茂っている。

新築規模は、建築面積928・32㎡、高さ10・6m（軒高10・09m）。駐車場10台、駐輪場15台を設ける見込み。

設計者は、大和ハウス工業㈱東関東流通一級建築士事務所（船橋市本町1―27―1）。

予定価格4.2億円で分譲

富津市新富の1.9万㎡

県企業局

県企業局は、富津市新富93―6の宅地1万9002㎡と同94―13の宅地1・59㎡と同94―13の2物件を一般競争入札により分譲する。いずれも、準工業地域に該当し、建蔽率60%、容積率200%。予定価格は新富93―6が4億1819万円、同94―13が2365万円。

分譲条件などとして▽工場、商業施設その他の業務の用に供する施設を自ら建設し、経営しようとするもの▽第三者に経営させるために業務用施設を自ら建設し、貸し付けようとするもの▽自己または従業員の居住の用に供する住宅を自ら建築しようとするもの▽住宅を購入して居住する者に対して販売し、または賃貸する目的で自ら住宅を建築しようとするもの（販売する場合は、居住する者に住宅を建築させることも可能）▽信託会社または信託業務を営む銀行に自ら建設した業務用施設もしくは住宅を信託しようとするもの――のいずれかまたは複数に該当する必要がある。

分譲案内書については、8月26日まで土地管理部土地分譲課分譲企画室（電話043―296―8758）で配布しているほか、ホームページからダウンロードできる。

8月25日と26日の入札参加資格確認受付期間を経て、9月8日と9日に入札を執行し、10日に開札する。

新富93―6は2027年12月12日、同94―13は28年1月24日に事業用定期借地期間満了となり、さら地で返還されることから、その後の引き渡しとなる。

問い合わせは、分譲企画室まで。

物件位置図

施工者は積水ハウス　若葉区3階共住新築

積水ハウス㈱千葉シャーメゾン支店（千葉市美浜区中瀬1―7―1）は、千葉市若葉区原町909―8ほかで個人が計画する、重量S造3階建ての共同住宅の新築工事を受注している。14日に着工し、2026年2月27日の完成を目指す。

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に基づく工事対象延べ床面積は585・55㎡。

関東甲信越1都8県他県版のお申込みも建設タイムズへ
043-225-5911

「災害トイレ」学ぶ

津田沼小で出前授業

習志野市インフラ協

あいさつする岩井会長

（一社）習志野市インフラ協議会は11日、習志野市立津田沼小学校の4年生3学級約90人を対象とし、「災害トイレ」をテーマとする出前授業を同校1階小アリーナで開講した。1～3時限目に3回に分けて座学を行い、各回約30人が受講。また、4時限目には、同校グラウンドに移動し、マンホールトイレの見学を行った。岩井健会長（㈱サクラ設備）は冒頭、出前授業の内容を説明した上で「教科書に載っていない専門知識を楽しみながら学び、得たものを家族に伝えてほしい」と期待を寄せた。

東日本セキスイ商事㈱の大塚哲史・防災・減災プロジェクト担当部長が講師を務め、地震に強い水道・下水道と大地震発生時のトイレについて説明。クイズでは「管路の耐久年数は何年か」や「管路の耐震化を優先する重要施設は何か」と投げかけ、児童が積極的に回答。管路が100年にわたって使用できることを知った児童は、驚きの声を上げた。

そのほか、同校にマンホールトイレ5基が設置されていることを紹介し、マンホールトイレの模型を用いて、内部構造や放水の仕組みなどを解説した。

マンホールトイレの見学では、設置場所や使用方法などを実際に見学・体験し、学んだ。

次回の出前授業は15日、実花小学校4年生を対象に「水を届ける」をテーマとして開催する予定。

マンホールトイレの内部構造を紹介した

マンホールトイレについて説明する大塚部長

クイズに熱心に参加する児童

12月着工を目指す

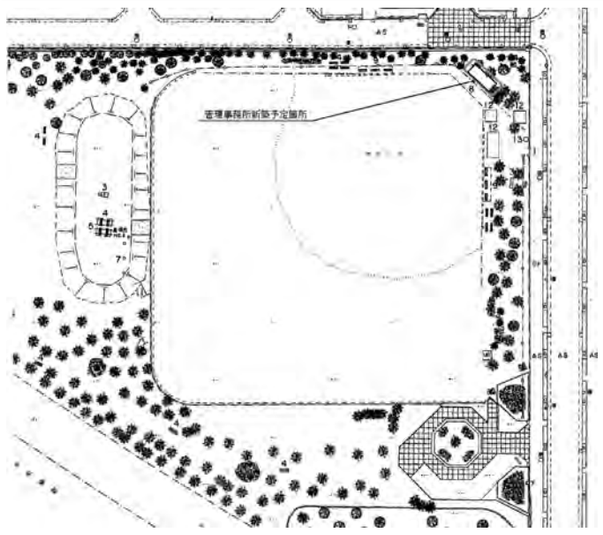
大三角公園に管理事務所

浦安市

浦安市は12月から2026年3月にかけて、大三角公園に管理事務所を新築する。施設規模などは軽量S造平屋建て、床面積14㎡の想定。建築、電気設備、機械設備、外構工事を一括とし、一般競争入札により発注する予定。工事費に2000万円を見込んでいる。

大三角公園は、舞浜3―37に所在。敷地面積は1万4502・08㎡。

10日に「大三角公園管理事務所新築工事設計業務委託」の指名競争入札手続きを開始した。18日に開札する。委託期間は10月31日まで。予定価格は328万9000円。


位置図

優良工事等表彰　23日に式典開催

水資源機構の千葉用水総合管理所と成田用水事業所は、2025年度優良工事等表彰式を23日午前10時から、八千代市にある千葉用水総合管理所説明ホールで執り行う。

24年度に完成・完了した工事・業務を対象に、優秀な成績を収めた業者・技術者や、無災害で完了した工事などを表彰する。

表彰項目は、各所長による優良工事、優秀工事技術者、優良業務、優秀技術者と、千葉用水総合管理所安全協議会会長による安全管理優良工事。

三菱ケミカル施工　市原市の工場増築

三菱ケミカルエンジニアリング㈱（東京都中央区日本橋本石町1―2―2）は、市原市五井南海岸14―1ほかにおけるS増3階建ての工場2棟の増築工事を受注している。

建設地の敷地面積は、10万4606・88㎡。

増築する工場は、建築面積16613・28㎡、延べ床面積44411・6㎡、高さ16・305m（軒高15・735m）と、建築面積2133・74㎡、延べ床面積5457・2㎡、高さ18・378m（軒高17・643m）の計画。

工期は、12月1日～2027年3月31日と、26年1月5日～27年4月30日の想定。

設計は、同社一級建築士事務所が手掛けた。

業務内容は▽建築主の要求などの確認▽設計条件の変更などの場合の協議▽法令上の諸条件の調査▽建築確認申請に係る関係機関との打ち合わせ▽実施設計方針の作成▽実施設計図書の作成▽建築確認申請図書の作成▽積算――など。

予算要求のため、9月末までの概算工事費の算出を求めている。

購読のお申込みは日刊建設タイムズ社まで
043-225-5911